

# 善意支え演奏会120回

みしまプラザホテル

三島市本町のみしまプラザホテルで24日、通算120回目となるチャリティーコンサートが開かれた。チャリティーコンサートを陰で支えているのは同ホテルのスタ

ッフ。慈善演奏会を開きたい地元音楽家や団体に会場を無償提供し、告知や会場整備、コンサートの進行なども手伝う。8年前に室伏勝宏社長の肝いりで始め、地元発意の慈善活動を支え続けている。

## 会場提供、裏方担う



大勢の聴衆が詰め掛けた石巻のチャリティーコンサート。会場の隅で進行を見守る室伏社長(中央奥)＝三島市本町のみしまプラザホテル

コンサートの開催を依頼してくる主催者はプロからアマチュア、学生、高校の部活動などさまざま。月1回開いてきたが、東日本大震災以降は開催依頼が殺到し、月2回のペースで行われている。

節目となった120回目は震災で被災した宮城県石巻市の「石巻少年少女合唱隊」のクリスマスコンサート(NPO法人グラウンドワーク三島主催)。室伏社長自身の発案で実現した。石巻市がメロンケ地の映画「エクレール お菓子放浪

記」の試写会を同ホテルで開いた際、「原風景を無くしてしまった石巻の子どもたちに発表の場を提供したい」と思ったのがきっかけという。会場いっぱい約300人の聴衆が詰め掛けた。

室伏社長は「私自身が音楽活動が好き。好きなことで地元のお手伝いができるのはうれしい。少しでも地域の文化に貢献したい」と話した。今後もチャリティーコンサートを続けていくという。